

第14回網走市大空町定住自立圏共生ビジョン懇談会議事録

- | | |
|--------|---|
| 1. 日 時 | 平成30年3月23日（金） 18:30～19:17 |
| 2. 会 場 | エコセンター2000 3階 視聴覚室 |
| 3. 出席者 | 黒瀧委員（座長）、後藤委員（副座長）、大槻委員、原本委員、乾委員、真鍋委員、田上委員、明神委員、長井委員、平出委員 |

（秋葉課長）

これより「第14回網走市大空町定住自立圏共生ビジョン懇談会」を開催いたします。開催にあたり、網走市企画総務部の岩永部長よりご挨拶申し上げます。

（岩永部長）

網走市企画総務部長の岩永でございます。よろしくお願いいたします。

本来であれば、市長がご挨拶をさせていただくところでございますが、用務のため出席がかないませんので、代わりに私から一言ご挨拶を申し上げたいと思います。

本日は年度末の大変お忙しい中にもかかわらず、網走市大空町定住自立圏共生ビジョン懇談会にご出席をいただきまして、誠にありがとうございます。また、皆様には日ごろからそれぞれのお立場から地域振興にご尽力をいただいておりますことに厚くお礼を申し上げます。

定住自立圏構想でございますが、安心して暮らせる地域を形成し、定住のための暮らしに必要なさまざまな機能をフルセットで確保していくという考え方から、地域の持続的な発展に大きく寄与するものと考えております。

大空町と網走市は平成23年3月に「定住自立圏形成協定」を締結し、その年に「網走市大空町定住自立圏共生ビジョン」を策定し、現在7年目となります。この共生ビジョンは、圏域の将来像や、両市町が連携・協力する具体的な取り組みを定めるなど、行政運営の指針にもなっておりますことから、委員の皆様からのご意見などを伺いながら協議を進めているところでございます。

委員皆様の忌憚のないご意見を頂戴できればと考えておりますので、今後ともなお一層のご理解とご協力を賜りますようお願いを申し上げ、私からの挨拶とさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

（秋葉課長）

続きまして、委員の改選がございましたので、委員の皆様をご紹介させていただきます。

こちらから順に、網走市社会福祉協議会の後藤委員でございます。大空町社会福祉協議会の大槻委員でございます。大空町社会教育委員の会議の原本委員でございます。オホーツク網走農業協同組合の乾委員でございます。女満別町農業協同組合の真鍋委員でございます。網走市観光協会の田上委員でございます。網走バス株式

会社の明神委員は、遅れての参加と伺っております。東京農業大学生物産業学部の黒瀧委員でございます。網走市の公募委員の長井委員でございます。大空町の公募委員の平出委員でございます。

なお、皆様の委嘱期間は平成29年9月1日から平成31年8月31日までの2年間となっております。お手元に委嘱状を配付させていただいておりますので、ご確認をお願いいたします。

続きまして、事務局を紹介させていただきます。私は網走市企画調整課長をしております、秋葉と申します。どうぞよろしくをお願いいたします。同じく、企画調整課参事の北村です。同じく、企画係の新井田です。大空町総務課参事の林です。同じく、政策グループの木村です。

続きまして、次第3「座長・副座長の選出」に入らせていただきます。座長選出までの間、網走市の岩永部長が仮議長として議事を進行させていただきます。

(岩永部長)

それでは座長選出までの間、私が議事を進めさせていただきますのでよろしくをお願いいたします。

はじめに、座長の選出につきまして、お諮りをいたします。懇談会設置要綱第5条の規定により、座長は委員の互選にて定めることとなっております。どのように執り進めればよろしいかご意見をお伺いしたいと思います。

<意見なし>

(岩永部長)

特にご意見がないようですが、座長について事務局で案があればご提案をいただくということではよろしいでしょうか。

(委員一同)

はい。

(岩永部長)

それでは事務局からお願いいたします。

(秋葉課長)

それでは事務局より提案をさせていただきます。座長に東京農業大学の黒瀧委員を推薦させていただきます。

(岩永部長)

ただいま事務局から黒瀧委員を座長にとの提案がございましたが、いかがでしょうか。

(委員一同)

よろしいです。

(岩永部長)

それでは、座長は黒瀧委員にお願いをしたいと思います。黒瀧委員は座長席に移動をお願いいたします。

<黒瀧委員座席移動>

(秋葉課長)

それでは、黒瀧座長に一言ご挨拶をいただきたいと存じます。

(黒瀧座長)

皆様、改めましてこんばんは。ただいま、委員の皆様の互選で座長に選出されました東京農業大学の黒瀧でございます。

今回の第14回網走市大空町定住自立圏共生ビジョン懇談会にあたりまして、任期は昨年9月から2年ということでございますので、不束ですが私のほうで網走市と大空町の持続的可能なまちづくり、発展に寄与していただくべく、皆様方のご意見をこの会議に反映させてその実態があるような形での議事運営を進めさせていただきたいと思っておりますので、どうぞよろしくをお願いいたします。恐縮ですが、議事は座ったままで進行させていただきたいと思っております。

(秋葉課長)

ありがとうございます。この後の進行は黒瀧座長をお願いいたします。

(黒瀧座長)

それでは、議事を進めさせていただきます。まず副座長の選出ですが、懇談会設置要領第5条の規定により、座長が指名することになっておりますので、私から指名させていただきます。副座長は、網走市社会福祉協議会の後藤委員にお願いしたいと存じます。よろしいでしょうか。

(委員一同)

はい。

(黒瀧座長)

それでは、副座長は後藤委員にお願いをしたいと思います。後藤委員は席の移動をお願いいたします。

<後藤委員座席移動>

(黒瀧座長)

それでは議事進行を進めさせていただきたいと思います。次第4「議事」に入りたいと思います。まず、第2次網走市大空町定住自立圏共生ビジョンに係る成果指標の進捗状況について、事務局から説明をお願いいたします。

(秋葉課長)

はじめに、定住自立圏構想と共生ビジョンの趣旨について、簡単に説明させていただきます。お手元に配付しております「共生ビジョン」1ページをお開きください。上段に記載がありますが、定住自立圏構想とは、住民の生活環境が密接に関係している地域を一つの圏域としてとらえ、定住のために必要な生活機能を圏域、総体として確保しようとするものです。本制度の財政的メリットといたしましては、国の特別交付税措置や補助事業の採択において優遇措置がございます。

次に、2ページをお開き願います。下から3行目をご覧ください。共生ビジョンとは、圏域の将来像や具体的な取り組みを定めたものでございます。まず、将来像は、圏域住民がゆとりと潤いを実感し、安心して、子育てができる環境を整え、子供や若者が夢と誇りを持ってこの地域に住み続けたいと思えるような魅力と活気に満ちた圏域の構築を目指すものです。

次に、27ページをご覧ください。将来像を実現するための具体的な取り組みの体系と、平成32年度までに目指す成果指標が定められております。本日は、この成果指標の進捗状況につきまして、ご説明させていただきます。別紙A4横の「成果指標の進捗状況について」をご覧ください。

まず、はじめに、救急医療体制の確保でございます。救急医療体制の対応日数でございますが、基準値が平成27年で365日、平成28年の実績値で同じく365日、それから平成29年を参考値として記載をしております。日数は変わっておりません。

休日救急体制の対応日数につきましても、72日で日数は変わってございません。

産科医療機関数でございます。平成28年度の実績値は2施設、網走厚生病院と金川医院でございますが、これも数値が変わってございません。

小児科医療機関数でございますが、4施設で数値は変わってございません。内訳は網走厚生病院、青沼医院、中山医院、角谷こどもクリニックでございます。

次に、3ページをご覧ください。女満別空港利用者数でございます。平成28年の実績値は78万1,000人で、基準値である前年度を上回っておりますが、平成32年の目標数値である年間100万人には届かないような状況が続いております。引き続き、国際チャーター便などインバウンドやプロモーション活動を継続的に行っていく必要がございます。

次に、住民対象講座の受講者数ですが、平成28年度は3,874人となりまして、基準値である平成27年の数値を上回り、また、目標値である3,680人を上回っております。

次に、4ページをご覧ください。藻琴川環境保全対策連絡協議会の取り組みへの参加でございますが、基準値である平成27年と同じく1件となっております。

同様に、網走湖環境保全対策推進協議会の取り組みへの参加でございますが、こちらも前年と同じ1件となっております。

次に、5ページをご覧ください。下水道終末処理施設でございますが、これにきましても、前年度と同様、それから目標値と同様の1施設となっております。

し尿処理施設でございますが、これも同様に1件となりまして、前年度、それから目標値と同じとなっております。

次に、6ページをご覧ください。網走市、大空町合同の防災訓練の実施についてですが、基準値が0回、目標値が1回ですが、平成28年度は0回で実施ができておりません。担当レベルでの情報交換を行ったということですが、引き続き実施に向けて進めていきたいと考えております。

次に、7ページをご覧ください。子育て支援センターの利用率でございますが、この数値は網走市にあります子育て支援センターの施設の登録者数、会員登録があり、その全ての登録者数に対して大空町の登録者数が何名いるかという数字となっております。平成28年度は計6名の大空町の対象者がおりまして、実績値が1%です。目標値が5%ですので、引き続き登録をしていただけるよう努力が必要になっております。

認知症サポーター養成人数ですが、前年1,900名から平成28年度は2,948名となっております。目標値2,800名を超えるような状況でございますが、引き続きサポーターの養成をしまして、人数を増やす努力が必要になっております。

次に、8ページをご覧ください。事業所の従業員数でございますが、人口減少が続いておりまして、前年度19,400名から平成28年度は19,076名で減っております。この目標値につきましては、平成27年度基準を維持するというものがございますが、従業員数が減っているという傾向が出てきました。引き続きですが、女性に対する就労機会や高齢者の雇用機会の創出に取り組む必要がございます。

網走湖の漁獲量、これは3ヶ年平均でございますが、基準値が880t、平成28年の実績値は933tとなりました。参考値として平成29年は926tとなっております。目標値である900tを上回っております。シジミの漁獲量が好調だったとお聞きしております。

次に、9ページをご覧ください。バス路線でございます。バス路線につきましては、7路線を維持するというもので、内訳といたしましては小清水線、斜里線、美幌線、常呂線、サロマ湖栄浦線、東藻琴線、女満別線となっております。数字は変わっておりません。

お試し暮らしの体験数、移住促進の関係ですが、基準値が1年当たり9件、平成28年度の実績値が1件増えまして10件、平成29年の参考値は9件となっております。目標値が年間15件ということですので、引き続き移住の取り組みが必要になっております。

次に、10ページをご覧ください。スポーツ合宿参加人数でございます。平成28年度は前年を上回り2,336名の方に合宿に来ていただきました。平成29年の参考値ですが、これも前年を上回る2,675名となっております。目標値である平成32年の2,000名を超える数字で推移してございます。

次に、11ページをご覧ください。大学等との連携事業数でございます。基準値が4件、平成28年度の実績値が7件となっております。6次産業化プロデューサーの育成や生涯活躍のまち構築推進事業、それから、長いもの高付加価値化など、記載のとおりの実業に取り組んでおります。

市町間の職員研修でございますが、合同研修の実施回数は年1回となっております。これにつきましては、1回ということではなくて合同研修ということで地域づくり研修を実施しております。平成28年度は3コマということで、平成29年度が1コマという意味合いでございます。ただし、それぞれグループに分かれて、グループごとに意見交換の場を別途行っているということで、概ね3～5コマぐらい行っているような状況です。この研修を1回ととらえていますので、目標値と同じという状況になっております。説明は以上でございます。

(黒瀧座長)

ありがとうございました。事務局に内容の確認をしたいところがあるのですが、よろしいでしょうか。

10ページ目の交流人口の拡大のスポーツ合宿参加人数なのですが、基準値1,700名、目標値2,000名で、参考値である平成29年度が2,675名となっております。この下の進捗状況には「目標値には到達していないが、毎年人数が増えている状況であり、今後は目標値に近づくことが想定される」とありますが、目標値をはるかに超えているという理解でよろしいでしょうか。

(秋葉課長)

そうですね。今スポーツ合宿の状況はかなり良いということで、数値が落ち着くのではないかとということで記載していると思います。実際に、これだけの方が来ていただけていますので、実際にはその目標値にこだわらず、より高いところを目指すべきであって、記載の仕方については担当課の意見としていただいているのですが、少し変える必要があるのかなと思います。ちょっとわかりづらいですね。

(黒瀧座長)

「到達していない」というのと「今後近づく」というのは少し文章として誤解を与える可能性があるので、修正していただいたほうがよろしいかと思います。

(秋葉課長)

修正させていただきます。

(黒瀧座長)

事務局から概略を説明していただきましたが、網走市大空町定住自立圏共生ビジョンの成果指標の進捗状況について、委員の皆様からご意見等を頂戴したいと思います。内容に関する質問等でも結構でございますので、よろしくお願いいたします。いかがでしょうか。

現状維持やかなり目標値を上回る数値も出てきているので、ある程度計画の進捗状況が進んできて、数値が下がっている厳しい部分もありますが、総体的には進捗状況が明確になっているのではないかと思いますでしょうか。

(乾委員)

広域観光の部分で、女満別空港利用者数が平成30年2月末で77万人なのですが、今年は流氷観光にも随分人が来ているみたいですね。平成29年度の実績値は3月末に集計すると思いますが、どのぐらいの予想をしていますか。

(黒瀧座長)

そのあたりの見通しがございましたら、事務局よりお願いいたします。

(林参事)

女満別空港の利用者数でございますが、平成28年度実績値で78万1,000人、平成29年度は80万人を超えると見込んでおります。近年では、右肩上がりでの推移を考えているところでございます。

(黒瀧座長)

乾委員、よろしいでしょうか。

(乾委員)

はい。ありがとうございます。

(黒瀧座長)

インバウンド関係の方々が結構列車を使っていると聞いております。それから、飛行機も千歳—女満別線でインバウンドが増えてきているということが観光業界でも言われているようですね。私も成果が出てきているかなと実感しております。

それでは、ほかにご意見ございますでしょうか。

<意見なし>

(黒瀧座長)

成果指標の進捗状況に関しては、ご理解いただいたと判断してよろしいでしょうか。

(委員一同)

よろしいです。

(黒瀧座長)

ありがとうございます。それでは、続きまして、次第4の「議事」今後の懇談会の進め方について、事務局よりご説明をお願いします。

(秋葉課長)

今回の懇談会ですが、今参考値とさせていただいておりました平成29年度の数値を実績値に置きかえてまいります。これにつきまして、同様に説明をさせていただきたいと考えております。時期は10月ごろを予定しております。

(黒瀧座長)

ありがとうございました。平成29年度の実績値を説明する懇談会を10月ごろに開催したいということでございますが、ただいまの説明に関しまして何かご意見、ご質問はございますでしょうか。

(乾委員)

「共生ビジョン」6ページの部分ですが、人口の推移がなぜ平成22年までなのか教えてください。

(秋葉課長)

この数値は国勢調査の数字を示しております。国勢調査がちょうど5年ごとの調査です。直近の国勢調査は平成27年なのですが、確報値が出るまでに若干時間がかかっており、ここは国勢調査の人口を記載して、こういう形になっています。

(黒瀧座長)

そうすると、今後は数値が追加されて平成27年の国調の結果が載るということで理解してよろしいでしょうか。

(秋葉課長)

はい。どこかの時期で整備をしまして、追加等の作業をしてみたいと考えています。

(黒瀧座長)

ありがとうございました。ということで、国調の結果を加えるという事務局のご説明でした。乾委員、どうでしょうか。

(乾委員)

行政区単位では人口を把握しているわけですよね。国勢調査の数値だということはおわかりましたが、今の現状を話し合うのに、なぜ8年前の数値を出して話しているのかですね。少し具体性に欠けているのではないのでしょうか。そのあたりはどうでしょうか。

(秋葉課長)

ここは現状までの推移を記載した項目でして、計画を作る際に、国勢調査の結果をメインとして記載してあります。平成27年度までの形を示したところで、まず現状を押さえましょうということです。将来を見据えた上でということで、平成22年という記載になっております。この計画自体はこれで当時決定したものですので、資料編か何かという考え方で別途整理をさせていただきたいと思います。人口については、国勢調査の数字と住民基本台帳の数字の2つがあります。国勢調査がなぜ使われるのかと言えば、実態に近いのは国勢調査でございます。例えば、東京農業大学の学生さんは住民票を動かさない方もいらっしゃいます。また、網走の特徴的なことをお話しさせていただくと、網走刑務所の受刑者の方が500人、600人ほどいらっしゃいます。そういう実態を踏まえた上で、人口推計がいろいろな地域で出ていますが、基本的にはこの国勢調査の人口を使って推計しています。

(黒瀧座長)

我々も人口統計を使う場合には、今秋葉課長から説明していただいたように、国調は正規の数値、それから毎年の推移は住民基本台帳の数値を使っています。乾委員が言われるように、少し古すぎるということであれば、どこかで住民基本台帳の数値を参考値でも結構ですので載せていただくと、今の疑問にきちんと応えることができるようになるかと思っておりますので、そこも少し工夫をしていただいたほうがよろしいですね。やはり直近の数字が気にかかるころではありますので、そこを少しご検討いただければと思います。乾委員、いかがでしょうか。

(乾委員)

そうですね。よろしく申し上げます。

(黒瀧座長)

それでは、他になければ、事務局からの連絡をお願いいたします。

(秋葉課長)

その他のご連絡になります。皆様には、後日報酬と交通費を支給させていただきます。今回初めて委員となった方には、お手元に振込先口座及び個人番号等の確認書を返信用封筒と併せて配付させていただいております。必要事項を記入の上、後日事務局まで提出していただきたいと思っております。連絡事項は以上でございます。

(黒瀧座長)

はい、ありがとうございました。まだどういったところを考えていけば良いのか、深掘りされていない部分もあるかもしれませんが、スムーズな運営で予定していた時間よりも大幅に早くなりましたが、本日の懇談会が終了したいと思いますが、よろしいでしょうか。

(委員一同)

はい。

(黒瀧座長)

それでは、第14回網走市大空町定住自立圏共生ビジョン懇談会を終了いたします。皆様、大変ご苦勞様でした。ありがとうございました。